

アウトリーチ公演

「グランツ 出前コンサート」 レポート

11月21日(木) 久住高原農業高校・直入中学校

DRUM TAO

和太鼓を通して「日本の文化」を伝え、世界中で人気のDRUM TAO。10代~20代の若手「G組」による全力投球の演奏は、子どもたちの憧れの存在! 体験コーナーでは、TAOメンバーと子どもたち、客席も一緒になって会場全体に太鼓と手拍子の音が響く合同演奏となりました。



11月22日(金) 萩小学校・南部小学校

川畠成道(ヴァイオリン)・寺嶋陸也(ピアノ)

川畠愛用のヴァイオリンは、ベートーヴェンと同じ年に生まれた249歳の「ヴァニーニ」。寺嶋陸也編「荒城の月」を始め、クラシックの名曲が演奏されました。ディニークの「ひばり」では会場にヒバリのさえずりが響き、子どもたちの口から思わず感嘆の声が漏れていきました。



12月6日(金)、12月13日(金) 南部こじかクラブ・コロニー久住

コンドルズ 近藤良平・ジントク

南部こじかクラブでは50人の子どもたちが参加し、次々と繰り出されるヘンテコな動きに大はしゃぎ。最後は「ガリガリ君」をみんなで踊って決めのボーズ! コロニー久住では、明るく人懐っこい利用者たちに笑顔で迎えられました。思うがままに踊る姿に講師陣も感動!!



アウトリーチ公演とは?

アーティストがホールを飛び出して、学校や福祉施設など、市民の皆さんのもとへ、コンサートやパフォーマンス、ワークショップをお届けする、それが「アウトリーチ公演」。本物の舞台芸術を身近に感じて、一流アーティストの表現力や情熱に触れ、豊かな心を育むために取り組んでいます。

今年度はDRUM TAO「G組」、川畠成道・寺嶋陸也、コンドルズの近藤良平・ジントクが竹田の子どもたちに会いに来てくれました!

アーティスト×市民で創る

廉太郎企画 いよいよスタート!!



合唱塾では竹田市内はもちろん、遠くは岡山県、九州各地から集まったメンバーが、菊ちゃん先生のもと、「合唱団の声」としてまとまってきました! 演劇塾では、ダンス経験者ゼロという「ゆるーい」メンバーで笑いの絶えない中、近藤良平による摩訶不思議な振付け進行中です。



企画と一緒に盛り上げてくれる 市民の皆さんの意気込みを聞きました!



ダンスチーム



動物みたいでヘンテコな動きが面白い!みんなが笑えるような面白い作品にできたらいいな!
小出隼人くん(南部小学校3年生)
小出優莉香ちゃん(南部小学校1年生)



新しいものを作るプロセスに参加できて嬉しい!舞台上で真面目にばかばかしいことを自分でさらけ出したい!
中林之隆さん(46歳/南阿蘇村)



高校の時合唱部に所属していて、今回はチャレンジと思って参加しました。演劇塾のダンスと一緒に仲間達と最高の作品を作り上げたいです!
山口智子さん(56歳/竹田市)

合唱チーム



歌うのが好きで、合唱塾が楽しそうだったので参加しました。難しいけど楽しい。練習の成果が發揮できるよう心を込めて歌います!
麻生萌子さん、後藤あゆみ、佐伯彩子さん(いずれも小4)



三善晃による緻密な編曲が施されていて、難しいですが感じるものも多いです。プロ指揮者に教えてもらえる機会、特に男性の方募集中です!
衛藤頼光さん(75歳/竹田市)



高校の時合唱部に所属していて、今回はチャレンジと思って参加しました。演劇塾のダンスと一緒に仲間達と最高の作品を作り上げたいです!
Alyssa Rossiさん(27歳/竹田市)

廉太郎企画 本番まであと1か月!

参加者の個性的な動きや身にまつた絶妙なニュアンスを取り入れながら振付けています。日本の合唱曲で踊るのは、初めての試み。生の合唱にあわせてテラメで面白いダンス。こんなのがなんだ!という奇跡の舞台を創ります!



近藤良平
振付・ダンス指導

「日本の四季」は、 三善先生が残した 大分県の財産!

三善晃編曲の「日本の四季」は難しい作品。でも歌を愛する「想い」があればきっと歌い上げられるはず! 私もこの透明で美しい曲に向き合い、幸せな気持ちを味わっています。丁寧に稽古を重ねて、美しいハーモニーを響かせます!



菊ちゃん先生
合唱指導・合唱指導



©HARU
「Bridges to Babylon」公演より。

今月のG(表紙) / 学ラン集団コンドルズの皆さん

今月のGは、学ラン集団コンドルズのみなさん。2019年11月に東京都池袋に新しくできたブリリアホール(豊島区立芸術文化劇場)のけららとし公演で、コンドルズ×豊島区民「Bridges to Babylon—プリッジ・トゥ・バビロン—」を終えたばかりのメンバーが揃ってGボーズ。竹田市でも市民参加企画の稽古の真っ最中。三善晃の合唱曲に、近藤良平(コンドルズ主宰)が振りを付け、市民が歌い踊るという何とも贅沢な企画です。加えて近藤良平が「荒城の月」でソロを踊るというスペシャル版! 合唱とダンス、ありそうでない組み合わせにご期待ください!

グランツあれこれ! 公演REPORT

日本舞踊公演 弧の会「コノカイズム」 新作「月光」を初演! 12月14日(土)



竹田市の岡城跡にて着想された新作「月光」がグランツだけ初演されました。笛が奏でる「荒城の月」で静かに始まり、若き岡城主・志賀親次や竹田に生きた先人たちを見守ってきた「月」のものがたりが、8人の男性日本舞踊家によって表現されました。静かな光を放つ月の情景や戦国の世を思わせる勇壮な踊りに会場は静まり返り、踊りが終わると大きな拍手が湧き起きました。



寺嶋陸也

自身もコンサートで三善作品を取り上げることが多く、三善先生とのお付き合いを感じさせる的確なご指導に歌声も軽やかに! レッスン後は、三善晃や廉太郎のピアノ曲を披露していただき、廉太郎の「憾み」の演奏では、ため息と大きな拍手! 贅沢な時間を過ごしました。

11月21日(木)合唱ワークショップ 特別講師:寺嶋陸也(作曲家・ピアニスト)